

石楠花会通信 VOL. 75 (2019. 10)

皆さま如何言お過ごしですか？お元気でお過ごしですか？

今回の石楠花会通信は大学体育会ワンダーフォーゲル部の合宿を中心にお伝えして参ります。

□令和元年度虹芝寮 OGOB 現役交歓山行のご報告

今年度の虹芝寮山行は梅雨入り前の新緑を楽しもうと6月8・9日の両日開催されました。OGOBのご参加者では静岡より68年次稲森ご夫妻、兵庫より72年次岡田ご夫妻が参加！久々に懐かしい顔を拝見できました。また08年次内藤、西岡さん、10年次及川さん、12年次岡本さん、13年次土居さんの若手も集まり総勢13名のOGOBと現役7名、総勢20名で虹芝寮での一夜を過ごしました。寮でのお楽しみの夕食は岡田食料係特選『水上風キノコたっぷりポークカレー』！稲森さん差入れの美味しいお酒としゃれたおつまみで思い出話に花が咲きました。

翌日は堅炭地蔵をお詣りして旧道迄直登する花上会長ご推奨の“ワンゲル登り”で、気持ち良い？汗をかきました。例年になく早い梅雨入りの為天候には恵まれませんでしたでしたが今年の虹芝寮も楽しい山行でした。

今年度、ワンダーフォーゲル部は新人10名が入部し、今回の虹芝寮には4名が参加しました。彼らは若手OBから虹芝寮での作法や楽しみ方を教えてもらいました。彼ら新人が今後、成蹊アルピニズムを担う貴重な人材として成長し、次の世代を育てられるようになって貰いたいと心から願います。

ただ深刻な問題ですが、現役部員は増えるが、OBOGの参加者が増えず、今回の様に貴重な『足』の不足が露呈し、虹芝寮だけでなく今後の石楠花会行事運営の見直しが必要になりました。来年度はひとりでも多くのOGOBのご参加を切に願う次第です。よろしく願います。

□令和元年度のワンゲル夏合宿のご報告

今年度の体育会ワンダーフォーゲル部は8月2～5日プレ夏合宿(南アルプス白根三山)、同月11～17日夏合宿(北アルプス燕岳～槍ヶ岳)を行いました。夏合宿は計画段階から学生課との検討会、顧問教授との面談、そして井上監督との検討会議を行い、承認を得て実施に至りました。特に夏合宿の『槍ヶ岳』はこの数年目指して果たせなかった山で、今年やっと念願のピークに立てた事はたいへん喜ばしい事でした。

彼らからは詳細な合宿報告書を頂戴しましたが、この紙面では全文掲載が難しい為、各合宿参加者の感想を掲載させて

頂きます。現役部員のプレ夏合宿、夏合宿報告書は石楠花会HPに掲載しますので、是非彼らの合宿の様子はそちらをご覧ください。[石楠花会ホームページ: http://shakunage.main.jp/](http://shakunage.main.jp/)



まずは10名で行ったプレ夏合宿の感想から

三橋(1年):

全体を通して感じたこととして個人的な面では体力不足で、全体的な面では負担になりやすいものの確認です。

〈中略〉それでも重大な問題も無く楽しく登れたのでとても良い山行だったと思います。

涌井(1年): 広河原～白根小池～北岳のルートはかつて登ったことがあるので、新鮮さはなかったですが、周りのメンバーは全く違うため、登山中のトークやスピード等楽しめました。〈後略〉

大森(1年):

川苔山以来の登山だったので3泊4日の縦走ができるか、登る前はとても緊張していましたが、無事に登ることができてよかったです。〈中略〉2日目は、北岳からの景色が曇っていたせいで真っ白で残念でした。ただ、日本2位の山に登頂できたのは嬉しかったです。〈後略〉

伊原(1年):

今回の合宿は大雨こそ降らなかったものの、要所要所で雲がかかってしまってなかなかいい景色に恵まれず、雷鳥にも会えず、3日目は、これを最後に山をやめよう、と考えるほどきつかったです。

それでもたまに目に入る花の可愛らしさや、メンバーとの軽口に励まされ、無事歩き終わられて本当によかったです。高校時代から、なんとなく北岳に登るのが目標になっていたのも、歩ききれて嬉しかった反面、体力不足も痛感しました。体のきつさを忘れてしまった今となっては、標高3000メートルの空気の冷たい心地よさと澄んだ感じだけが肌に残っていて、この感じによばれてまた登るんだろうと思います。〈後略〉

八木(1年):

とても綺麗な星空や普段見れないような景色が見れて良かったです！菅野先輩が落ちてしまった時は、私も同じ場所で滑ったので私も落ちてたらと思うと怖かったです。〈中略〉足がへとへとになりながらも無事帰ってこれて良かったです！

三川(2年):

反省点が多いプレ夏合宿だった。事前の装備分担の時に確認が十分に取れていなかったため料理に使う油を持ってき忘れたり、ガスの残量が心許なくなったり、間違えた装備を山に持ってきそうになってしまいそうになった。事前準備の時間は十分にあったはずなのに、計画書が完成していると油断して細かなチェックを怠っていたのが原因だと考えられる。今回は致命的な失敗にはならず、無事に山行を負わせることができたが、場合によっては引き返さなければならない事態になっていたのも今後このような事態にならないよう山行計画は入念に立てていきたい。〈後略〉

池田(2年):

北岳は2回目だったが、水が美味しく、どっしり構えていながらもそびえ立つ北岳のシルエットは圧巻で、何度行っても良いところだと感じた。スケジュールも初日にきれいな白根御池で泊まることができ、次の日の北岳山荘からの朝日、間ノ岳からの景色も最高だった。〈後略〉

菅野(3年):

私がプレ夏合宿で力を入れたことは2つ。1つ目は創意工夫です。2つ目は草を掴んだことです。〈中略〉この2つの経験から得た、コミュニケーション能力を活かして生活をより良くしていきたいです。全体的に渡邊さんが居なくて寂しさを感じました。最後に、素敵な山行を計画してくださった三川君に感謝いたします。

久保田(3年):

〈前略〉パーティー全体を通して部員自ら行動してくれる事が多かったため、こちらから色々口を出すこ

ともなく、お互い気持ちよく登れたことだろう。天気が快晴であったことにも感謝したい。

続いて夏合宿の感想です。

涌井(1年) :

全体的に天気が良かったのは自分のモチベーションを保つ上で助かったと思います(先輩ありがとうございました)。また、個人的に体力面ではプレ合宿の方がきつく、本合宿は高所の細い登山道など足がすくむような箇所が、特に槍ヶ岳山荘までの道のりに多かったように思いました。ただ、そのような道を越えて、槍ヶ岳も登頂できたことは、今後の山行の糧にも自信にもなると思います。(後略)



大森(1年) :

行く前から台風の影響がでないかととても心配していました。結局、先に帰ったA隊は、ほとんど関係なく終わり良かったです。(中略) 槍ヶ岳山荘から、槍ヶ岳山頂までのアタックは、荷物が軽かったので楽でした。手を使って登るところが多かったのととても楽しかったです。山頂の景色は残念でした。下りは、かなり怖かったですが、曇っていたおかげで下が見えなくて良かったです。

三川(2年) :

(前略) 自分たちB隊は、台風が来なければ槍ヶ岳から大キレットに向かう予定だったが、登っている途中で、20kgの荷物を背負って大キレットに行くのは正直無理だと思っていたのでA隊と共に下山することになって本当に良かったと思う。いつかしっかりとした装備で槍ヶ岳から穂高岳まで行ってみたいと思った。どちらの合宿も自分の未熟さがよくわかる出来事が多くあって来年自分が本当に主将になって良いのかと心配である。合宿の反省点を忘れず来年に向けて出来る準備をしていきたい。

北村(2年) :

台風が迫る中の突貫でしたが、山行中は終始天候に恵まれて良かったです。部の因縁の槍ヶ岳も展望こそ望めなかったものの全員無事に登頂できました。また、個人的な話になりますが、自分は2年という立場のため本来であれば後輩達を助けるはずですが、プレに参加してこれまでに以上にタフになった彼らに寧ろ助けられる場面が多かったように思えます。本合宿に携わって下さった全ての方に感謝致します。ありがとうございました。

池田(2年) :

(前略) 4日目は天気に翻弄されながらも、合宿最大の山場である槍ヶ岳登頂を成し得ることができ、感無量だった。心待ちにしていた大キレットには行けず少し残念だったが、今のチームにはとても適切な計画で、終始天気も荒れず、良い雰囲気楽しく充実した合宿だった。大キレットや穂高など次回への楽しみを抱きつつ合宿を終えることができた。

久保田(3年) :

(前略) 稜線からの景色を堪能しながら登山するという贅沢を味わうことが出来た。また、1年生や2年生にとって東鎌尾根は高度感を十二分に味わう事が出来ただろう。高い所、切れ落ちた所に行けばより一層、パーティーのテンションが高まる。馬鹿なのだろうか。馬鹿で何が悪い。この生き甲斐を感じるという感情こそが登山の醍醐味であり、パーティーの一体感が生まれる。特に、まだ登山経験の浅い1年生は、慣れない環境下でよくやったと感じる。どうかこの感情や感覚を忘れずにこれから生活をしてもらいたいと思う。一生の思い出になるのは間違いないだろう。

□第6回体育会OBOG会長連絡協議会総会のご報告

7月7日成蹊大学にて大学体育会系クラブ34団体のOBOG会長が出席し開催され、当部より花上会長と私が出席しました。今回は去る5月アメリカンフットボール部練習中に発生した負傷事故についての検証と体育会団体の安全対策をテーマに説明がありました。事前には当部へも安全対策についての状況確認のアンケートの依頼があり井上監督、若手OGOBの協力を得て大学学生支援事務室(旧学生課)へ提出しました。

学生の課外活動における責任の所在の議論は去る4月の当部OB総会でも行われましたが、今回の総会でもクラブ活動は各団体学生の自己責任で行うものであり、大学はリスクマネジメントを支援する専門委員会の設置、セミナー開催などの取組みを行っていくがOBOG会からの支援も期待したいと大学学生支援事務室熊崎課長から説明がありました。また同氏は20年前の山岳部遭難事故での対応(踏高会が1500万円の救助捜索費用を捻出した)を例に、OBOG会の積極的支援を求めています。

□令和元年度石楠花会会費・寄付金払い込みのお願い

石楠花会会費は年間3,000円です。会費払い込みは『日本郵政』払込用紙または以下の『三菱銀行』口座へお願いいたします。尚、複数年払いをご希望の方には5年分15,000円を上限としてお支払いが出来ます。それ以上の金額をご寄付として処理させていただきますので何とぞご了承ください。

振込先: 【 ゆうちょ銀行 】口座番号「00120-4-358653」 加入者名「石楠花会」
【 三菱UFJ銀行 西川口支店 】普通 0610534 石楠花会幹事 松田武雄

□虹芝寮OGOB現役交歓山行のご報告

日程: 令和元年6月8日～9日

場所: 成蹊学園虹芝寮

参加者: 【OGOB】花上(65)稲森夫妻・松田(68)酒井(69)岡田夫妻(72)千葉(74)内藤・西岡(08)及川(10)岡本(12)土居(13)計13名 【現役】久保田・菅野・渡邊(17・3年)大森・高澤・滝田・涌井(19・1年)計7名

□令和元年度新年OGOB現役交歓会のご案内(予告)

今年度最後の石楠花会の公式行事のご案内です。この数年、若手OGOBのご参加が少なく、現役学生も世代ギャップに戸惑ったりしています。そこで一人でも多くのOGOBの方にご参加して頂きたく土曜日の昼間に開催しています。是非たくさんのOGOBのご出席をお待ち申し上げます。

今年も会場は58年次原田さんのご実家。舌の肥えたグルメを喰らせるベルギービールとお料理のお店です。

日時: 令和2年2月1日(土)13:00～

会場: 会場:『シャン・ドウ・ソレイユ』千代田区内神田1-10-61 Tel 03-5281-0333

会費: 6,000円

出席の申し込みは『石楠花会』HPへの投稿又はEメール、または次回石楠花会通信(令和元年12月頃発送)に同封の返信ハガキ(郵送の方)にてお申し込みください。

□石楠花会ギャラリー



〈虹芝寮OJOB現役交歓山行〉

令和元年6月8日～9日



〈体育会ワンダーフォーゲル部プレ夏合宿〉

令和元年8月2日～5日



〈体育会ワンダーフォーゲル部夏合宿〉

令和元年8月11日～17日

